

すいせんのラツパ

工藤 直子 文
村上 康成 絵

春のまん中のお話です。

池のそばのすいせんが、金色のラツパをプル・プル・プーと
ふいて、よい音が出るかどうかためしていました。

そこへ、ありたちが、とととと走ってきました。

「おはよう。すいせん。」

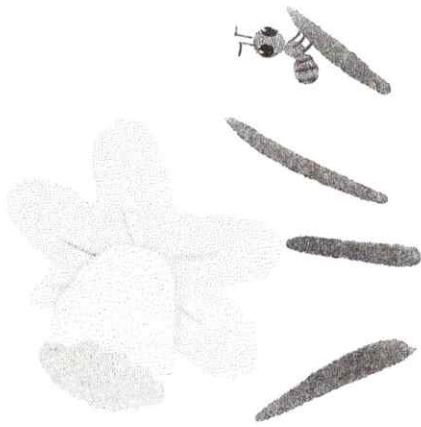
「おはよう。あり。ずいぶん早いね。」

「だって、まちきれないもの。」

「ね、早く、ラツパをふいて。」



5



「そっちに上がっていい？」

ありたちは、わいわいはしやいで、
すいせんの葉っぱに上ってきました。

そうです。今日は、すいせんが、今年
はじめてラツパをふく日なのです。

なぜラツパをふくかというね、冬の間ねむっていたかえるたちに、
春ですよ起きなさいと知らせてあげるためです。

すいせんは、お日さまの高さをはかったり、風のはやしをしらべたり、
ラツパをプーとふいたりして、ときどき、もうすぐだというように、
うんうん、うなずきます。

ありたちは、葉っぱの上で、ゆらゆらゆれて、じっとまっています。

起
きおこ
こころ
する

5

10

あたたかい風が、ささあつとふきわたり、日の光が、一面に
ちりました。

(うん。今だ！)

すいせんは、大きくいきをすって、金色のラッパをふき鳴らします。

プップ・パツパ・パツパラピー・プウー

すき通った音が、池をわたり、地面をゆさぶり、おかを上って、
向こうの空にきえます。ありたちは、目をまん丸にして、うんと
せのびをして、まわりを見ました。

……すると、池のそばのつつじのねもとがむくつ。

(あ、あそこだ、あそこだ。)

ありたちは、ひじをつついて、ささやきます。

むくつ。むくむくむくつ。グローブみたいなかえるがとび起きました。

面
めん

向
こまはむむ
ウかむくろ
うる

10

5

目をぱちぱちさせてから、すいせんを見つけると、

「やあ、今年もありがとう。」

と、大きな声で言いました。それから、

「バオーン。」

と、あくびをして、

「はらへった。はらへった。はらへった。」

どつすん・ぽこ。どつすん・ぽこ。どつすん・ぽこ。

と、林の方へとんでいきました。

「はあ！ かえるのおすもうさんだ。」

「かえるのよこづなだ！ どつすん、どつすん。」 10

ありたちは、葉っぱの上で、とび上がって
手をたたきました。



すいせんは、につこりして、またラツパをふぎます。

ピラリ・ピツピー・ランパツパ・ピー

うきうきする音がながれ、

あたりはまぶしく光ります。

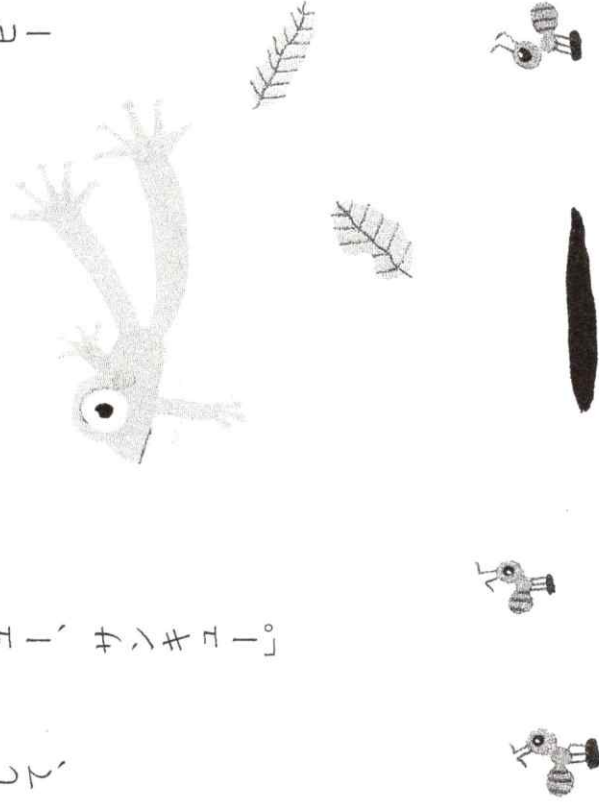
(あ、こんどは、あそこ！)

かきねのすみっこのおち葉が、
ぱつぱつととびちっています。

パツパツポーン。おち葉の
中から、緑色のリボンのような
かえるがとび起きて、

「はあい、目ざましラツパ、サンキエー、サンキエー」。
と、氣どった声で言いました。

それから、くるんとちゆうがえりして、



5

10

緑
リボ
ン

「ぎ、あそぼう。うんとあそぼう。だれとあそぼう。ひらり・びよん。

ひらり・びよん。ひらり・びよん」。

と、林の方へとんでいきました。

「へえ！ おどりおどっているみたい」。

「かえるのダンサーだ！ びよん、びよん」。

ありたちは、感心して手をたたきました。

すいせんは、いよいよ元気にラツパをふぎます。

ピピピプー・ピポピポ・ピツピー

こんどは、どんなかえるが目をさますかな。

(あれ…か…かな？)

すいせんのそばの土が、ちよろつとうごいて、豆つぶみたいなかえるが、
ぴいんととび起きました。

5

10

感
カン

豆
スト
マ
ウ
メ

「やあもう春だ。ん？ ぼく、こんなに上手に目がさめるなんて……
なぜだ？ なぜだ？」

目をこすりながら、きよろきよろしています。

「ラツパですよ。すいせんのラツパで目がさめたんだよう。」

ありたちが、口をそろえて教えました。

「ラツパ？ あ、その金色のラツパ。」

そうだったの……。ありがとう！」

豆つぶのようなかえるは、ぴん、とおじぎをして、

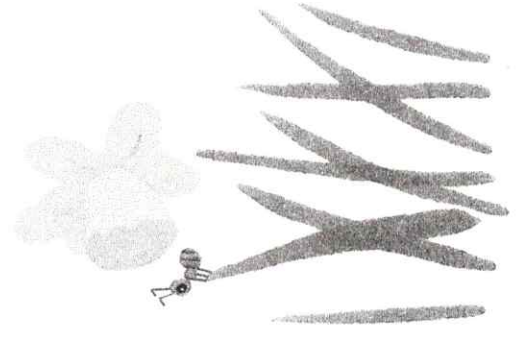
「うれしいな。うれしいな。うれしいな。」

ぴこぴん・ぴこぴん・ぴこぴんぴん。」

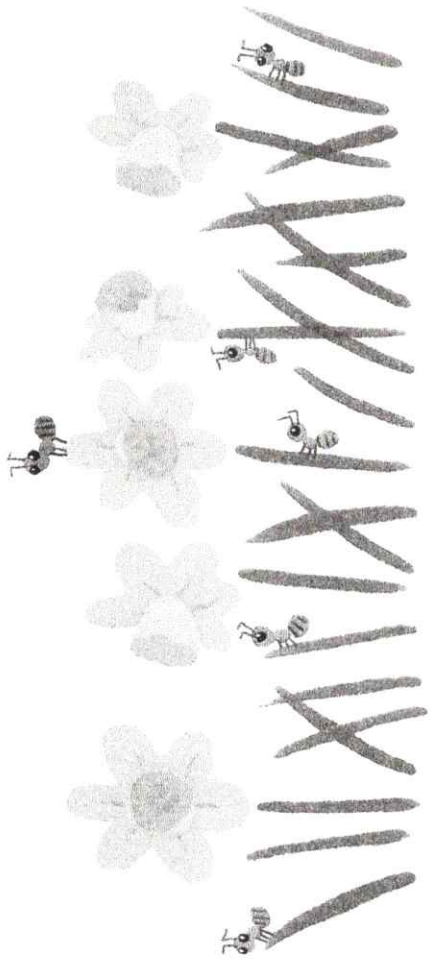
と、林の方へとんでいきました。

「あはは、かわいいかえる。」

「今年がはじめてだったんだ。」



5



「ぼくたちラツパのこと教えてあげたね。」

「うん。よかったね。」

ありたちは、にこにこして見おくりしました。

すいせんは、たくさんたくさんラツパを
ふきました。それに合わせて、かえるも
たくさんたくさんとび起きました。

あたりは、どんどんにぎやかになり、
おまつりみたいです。

ありたちは、ラツパに合わせて歌ったり、
かえるのまねをしてとんだり……。

まだねむっているかえるは、いませんか？

5

10